

“引退乗用馬預かり事業の健全な発展”と “馬を架け橋とした地域振興”を目指す

特定非営利活動法人ホースタウンネットワーク

NPO法人ホースタウンネットワークは、「全国の馬事事業者、乗馬を楽しむ人たち、馬事振興に取り組む行政・団体などをつなぎ、引退乗用馬の預かり事業を促進し、それらを通じた地域の振興に寄与する」ことを目的に、2022年に設立しました。現在の主要な活動は、標茶町と民間事業者による、「馬を核とした地域振興の取り組み＝道東ホースタウンプロジェクト」の柱の1つである「引退乗用馬預かり事業」の健全な発展のためのしくみづくりや環境整備です。行政、地域の事業者（引退馬を預かる地域の牧場）、顧客（乗馬クラブなど引退馬の預託者）などの、いずれの立場からでも独立した存在として、行政及び事業者双方をサポートしながら活動を行っています。



引退馬の観察用に当法人が牧場に設置しているトレイルカメラの写真

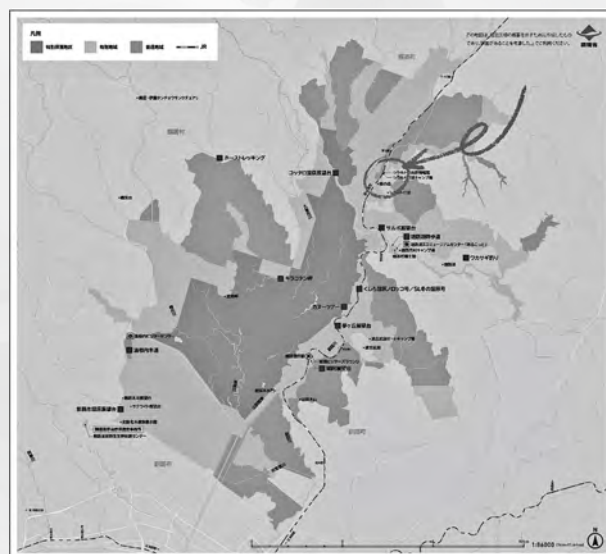
【馬を“架け橋”とした関係人口づくり】

「令和7年度 地域活性化活動助成」では、「地域内外協働による“馬と地域資産を活用した体験プログラム”開発」をテーマに、申請をさせていただきました。「引退乗用馬預かり事業」は、乗馬クラブなどを引退した乗用馬を標茶町の牧場に預託してもらうことで、牧場にとっては預託料を安定的に得る事業となり、町にとっては、馬をきっかけとした来訪者が増えること（＝関係人口の増加）を目指すものです。当法人として、そういった関係人口増加につながる活動にもより積極的に関わっていくことを目指しており、今回の申請はそのトライアル的な位置づけのものでした。

「道東ホースタウンプロジェクト」では、かねてより、乗用馬生産の歴史のある道東地域で、“馬”と釧路湿原や釧路川などを組み合わせ、当地域ならではの魅力づくりに取り組んで来ており、その一環として、釧路湿原国立公園内（標茶町茅沼地域「蝶の森」）での「体験プログラム」開発を進めていました。その開発に、当法人が連携している都市圏の乗馬クラブの会員に顧客モニターとして参加してもらい、“外部視点”“顧客視点”での評価・助言を得ると共に、「地域人材と外部人材の交流機会」としても位置づけ、継続的な関係づくり～連携の枠組み化も目指す企画です。

【国立公園内を馬と。地域内外の多様な協業】

今回の、標茶町茅沼地区「蝶の森」でのホーストレッキングコース開発は、国立公園内での取り組みのため、環境省とも連携しつつ、環境負荷を評価しながら進める必要があります。①実行計画立案～②事前のコース確認～③コーステスト～④関係者での総括～⑤今後の方向性合意～⑥プログラム完成というステップでの進行となりました。当法人は、①～⑥のステップ全般へ参画しつつ、③コーステストにおける顧客視点の組み込みをメインとして推進しました。



釧路湿原国立公園内のホーストレッキングコース（地図出典：環境省）

半年以上の準備期間を経て、11月に、地域行政（標茶町）・環境省・事業者・顧客モニター（乗馬クラブ会員）参加のもと、コーステストの実施に至りました。参加者全員が乗馬ならびに徒歩でコースを周り、それぞれの視点（安全評価・環境評価・顧客評価・運営評価）での評価確認や懸念点の洗い出しを行いました。

結果として、「安全評価」「環境評価」「顧客評価」いずれも良好な結果となり、運営面での要件や課題も明確にできたことで、2026年度後期より、本コースにおけるホーストレッキングサービスの一般提供を開始する方向で、全関係者での合意に至ることができました。



コースの事前確認。安全性や環境負荷などを確認しコースを設計



コーステスト後の意見交換会。多様な立場から評価や課題を明確化

「インタプリテーション」の重要性

国立公園内でのホーストレッキングコース開発の条件として、環境省との事前相談をふまえ、当初より「インタプリテーション」の組み込みを想定していました。道東地域での馬を活用した観光振興において、釧路湿原国立公園や釧路川などの地域資産の活用と自然環境保全の両立は不可欠です。単に、馬とのふれあい

や乗馬を楽しむだけでなく、地域の自然環境や歴史・文化などについての学びを、開発する側の意志として組み入れていくことが、観光開発の継続性向上につながると考えています。

コーステスト時には、ホーストレッキングコースの魅力や特長だけでなく、釧路湿原や釧路川の成り立ちや環境保全の取り組みなどもまとめたハンドブック試作版を制作し使用しましたが、学び要素の組み込みは、環境評価の重要な指標であるだけでなく、顧客評価（特に馬をフックとした顧客の付加価値）を高めることも確認できました。



ハンドブック試作版。2026年秋に正式アップ予定

【ネットワークを活かした地域内外の関係づくり】

「馬を活用した観光開発における、“外部視点”“顧客視点”の組み込み」には成果が大きいことが確認できました。今後も継続的に、馬を核とした地域振興活動に参画していきたいと思えます。最重要ミッションである「引退乗用馬預かり事業の健全な発展のためのしくみづくりや環境整備」を更に進めつつ、当法人の強みである“都市圏の乗馬クラブなどとのネットワーク”を活かし、今回の活動を雛形に、地域内外の人材の継続的な関係づくりにもつなげていけるように取り組んでいきます。



▶NPO法人ホースタウンネットワーク
<https://horsetown-network.jp/>